



日本医療福祉生活協同組合連合会

東日本大震災支援ニュース No.14

(2011年3月22日 19時現在)

23日、物資支援センター（新潟）から郡山医療生協、
福島医療生協、福島中央市民医療生協に物資を届けます

*** 浜通り医療生協には日本生協連が24日に水を届けます**

物資支援センターには以下の医療福祉生協から物資が届いています（22日現在）

- ・東京ふれあい医療生協 ・ひかわ医療生協 ・群馬中央医療生協
- ・岡山医療生協 ・上伊那医療生協 ・新潟医療生協 ・沖縄医療生協
- ・南医療生協

【医療福祉生協連 東日本大震災物資支援センターについて】

- ・センターに送付いただく支援物資は被災している医療福祉生協が必要としているものに限りです。
- ・必要としている物資は会員支援サイトでご確認ください。
- ・センターに発送を希望される生協は、医療福祉生協連・会員支援部TEL03-4334-1580にご連絡ください。

物資送付先

〒950-0891

新潟市東区上木戸5-2-1 電話 025-274-7139 FAX 025-273-2073
新潟医療生協内 医療福祉生協東日本大震災支援物資センター係

- ★物資は支援生協が配送センターに宅配便などを活用してお届けください
- ★センターには医療福祉生協連職員が1名常駐しています

被災地の医療福祉生協の状況

○松島医療生協

- ・電気は復旧、ガスは設備点検後使用可能、水道は4月3日以降に復旧。
- ・飲料水は支援物資に頼らざるを得ない状況。
- ・食料は支援物資で賄っている。
- ・ガソリンや灯油確保は困難だが、数日で改善する可能性もある。
- ・医薬品は現状では足りている。
- ・連絡が取れない役員が数名いる。

松島医療生協には庄内医療生協による1日1便の人的・物資の支援が継続的に行われています。

○郡山医療生協

・社会福祉協議会へ物資を配布

富山医療生協、長野医療生協、尼崎医療生協等からの支援物資が続々届いています。届いた物資の中から現地の社会福祉法人くわの福祉会へ500ml ボトルの水160本とみそ汁4800人分を、郡山市社会福祉協議会へ300mlの水340本とみそ汁4800人分を送りました。

・理事長などが職員宅を訪問

理事長、桑名病院院長、専務の3名が家屋の被害が大きかった職員宅を訪問。いずれのお宅もそのまま住みつづけることが困難な状況で、元の生活に戻るには長い時間が必要です。(3月20日)

○福島中央市民医療生協

・尼崎、長野、浜北から支援物資届く

避難所や近隣の特別養護老人ホームに物資支援

尼崎医療生協、長野医療生協から、20日深夜、尿とりパット、レトルト食品、フェイスマスクなど到着。浜北医療生協から、灯油、米、トイレットペーパー、マスク、水、お茶など支援物資第4便が22日朝到着。

伊達市の避難所にこども用のミルクや紙おむつ等を支援。避難所に作業療法士、介護福祉士が赴き、廃用症候群、エコノミークラス症候群等の予防体操を指導。近隣の特別養護老人ホームへ、医療材料や水、オムツの物資支援。

・通所系サービス再開へ！

老人保健施設にじのまちの通所、24日より再開の見込み

笹谷サポートセンターよりあい、22日より入浴なしなどの条件付きながら

ほうらいデイサービスセンター、22日より通所スタート通常通り

とのやデイケア、23日より

・避難所へ医師・看護師の支援を決定、22日から

22日から、上松川診療所などの医師、看護師が毎日、避難所へ医療支援。22日は上松川診療所の医師が15時から避難所へ。

○福島医療生協

医師3名を中心に2組に分かれて避難所訪問を行っています。

・わたり病院の医師がテレビ出演—放射線の身体への影響を話す

わたり病院の斎藤紀(おさむ)医師が3月21日、テレビユー福島に生出演し、原発事故に伴う放射線の身体への影響などについて話をしました。番組を見た方からは「落ち着いて考えられるようになった」との感想が寄せられています。

また、斎藤医師が福島市職員を対象におこなった原発事故に伴う放射線の身体への影響の講演要旨が配布され、市長から斎藤医師の話を聞く機会を設けてほしいとの依頼がありました。(福島医療生協 東日本大震災対策ニュースNo.6より抜粋)

支援状況

○庄内医療生協

3月19日からの3連休中も、医師2名、含む15名超で松嶋医療生協に支援へ。松嶋医療生協との間で、1日1便の物資搬送。

○利根保健生協

3月22日9時に、片品村より被災者57名が受診のため来院。皮膚科で入院1名。

3月28日より31日まで、宮城県本吉郡南三陸町へ、医師1名、看護師2名含む計4名を派遣へ。(3月22日、「東北地方太平洋沖地震」被害等の利根中央病院情報より抜粋)

○東京ほくと医療生協

50年前に5年程、石巻に住んでいた組合員さんが、生活が厳しい中、地域の方に助けられた恩返しに「お役に立てれば」と100万円の募金を寄せてくれました。

○川崎医療生協

ふじさきクリニックから医師2名、看護師3名、介護福祉士1名が第4次支援チームとして宮城県に出発しました。(3月21日)



○医療生協かながわ

看護師1名、事務2名がミニバン型乗用車にマスク、ティッシュペーパー、紙おむつ等の第3次支援物資を積んで宮城県へ出発。

○津医療生協

看護師2名、薬剤師1名、介護職員1名がインシュリン、降圧剤、吸入器等の医薬品と粉ミルク、離乳食、米を持って宮城県へ出発。(3月22日)

○なにわ保健生協

22日、看護師1名、事務1名を第一陣として派遣。27日まで。(3月22日)

○被災生協が必要としている物資一覧を医療福祉生協連ホームページ内の会員支援サイトに掲載しています。

医療福祉生協連は義援金口座を開設しています。

義援金振込口座は次の3つです。

口座名義はすべて「日本医療福祉生活協同組合連合会」です。

- ①三菱東京UFJ銀行（0005）原宿支店（店番627）
普通預金 0041240
- ②みずほ銀行（0001）新宿中央支店（店番066）
普通預金 2919276
- ③郵便振替口座 00190-5-694665

寄せられた義援金は地方公共団体、公的機関等を通じて被災した地域への支援に使われます。

※生協で発行している震災関連ニュース等があればぜひお送りください。
下記の担当2人に同時にお送りいただければ幸いです。

※ニュース等で使われている写真を医療福祉生協連ホームページや comcom で使用させていただきます場合があります。ご了承ください

担当：江本・丸山
電話：03(4334)1580、FAX：03(4334)1585
メール：at_e@hew.coop（江本）
kj_m@hew.coop（丸山）